

日 時：令和 6 年（2024 年）6 月 14 日（金）18：30～20：30

場 所：東横イン東横イン富山新幹線口 1（〒930-0007 富山県富山市宝町 1-5-1）

出席者：前田 JBA 委員長、関口 JBA・IR 長、玉木北信越 IR 長

山崎翔太（新潟県審判長代理）、鈴木 誠（長野県審判長）、了舟文弥（石川県審判長）

竹田雄介（富山県審判長）、栗原敏彰（福井県審判長）

1. 自己紹介

2. 前田 JBA 委員長から

(1) 審判委員会決議事項

① U18 拡大 18 歳人口が減少している中どう拡大していくか

U22 レフェリーカフェ

○ スタートはミニ、中学の部活でプレイ、その後審判を始める方が多い

○ 競技者にも裾野を広げる。全国専務理事連絡会でも共有。

選手は意外とルールを知らない。審判に興味を持ってもらう。

○ NISSIN 出場チームの関係者に、選手にウェビナーができないか打診
「会議室に集めてルールの勉強より、体育館で練習していきたい」

○ 学連でも実技の講習会を行っていききたい

○ U15-17 登録者 2059 人、B 級（男 7、女 0）

○ U18-22 登録者 3015 人、B 級（男 106、女 28）、A 級（男 2、女 1）

○ U18 審判員の紹介

・ 長野県の佐藤さん YouTube 再生回数増えている。問い合わせも多い。

・ 東京都の三浦さん 実践女子マネージャー、チームを支えるために審判をスタート C 級で東京体育館のコートに立った ウインターカップや NISSIN のコートに立つことを目標にしている

・ 鹿児島県の B 級審判員 全国ミニ

※U18 審判員の大会への派遣には様式があるのでそちらを使用すること

② 24-25W リーグ

14 チーム、毎節 7 ゲーム×3 人審判員=21 人の審判員、リーグを回していくためにはその倍の 42 人必要。研修の場ではない、月 2 節担当することでゲーム感覚を忘れない
吹かない期間が増えればコートに立つのが不安になる。

女性 S 級審判員で 42 名に入れなかった方がいた

→男性 FIBA も含まれていたが今はほとんど割当していないので、除いた

→B チャレで女性でも B リーグを担当でき経験できる環境がある

③ JBA レフェリーウェビナー 9 月、12 月、3 月、6 月の年 4 回実施

④ 24-25W リーグ女性審判員のみで運営

・ W リーグサマーキャンプ（7/13-15）S 級審査受験者、23-24 担当以外の S 級

・ W リーグ CUP 戦（ウォータムカップとは別）W リーグ担当審判員で CC の経験のない審判員

が C C の経験をする割当をする

⑤ T L G 審判員強化事業 B プレミアを見据えたトップレフェリーの育成

B プレミアについてはまだ決まっていないことが多い

⑥ 女性の普及・拡大

男：女＝8：2 FIBA からのガバナンス、女性を増やすよう指示

ハードルを下げてできることを進めていく

→E 級 D 級審判員を各都道府県で 3 人増やす 47 都道府県×3 人＝141 人

⑦ J B A 全国派遣

・ 新規 S 級を本部派遣することで一部の審判員に偏っていた問題を分散

・ 佐賀国スポへ各ブロックから A 級を派遣する

→今まではブロック長会議を開催していた。3PO 普及拡大の意図があった。

今は 3PO も普及しできるようになってきた。

～2023 年

2024～

本部派遣 S：10 名（ブロック長）→ A：10 名（各ブロックから派遣）

→少年種別：S 級が吹かなくても良い。A 級の活躍できる場を増やす。

⑧ B リーグユース大会

2/22-24 U28YOC 講師 FIBA 映像を使って 2 時間講義、ゲーム後フィードバック

自費参加…参加者から、何か持って帰ろうという意欲を感じた

⑨ B プレミア担当審判員の確保

カーディング

・ 平日が増える(月)～(金)…平日対応できる審判員がいない。

J B A 事務総長と相談している。対応できる審判員を増やす。

特定の審判員だけだと怪我が心配

・ 週末(土)(日)連戦なし、(金)(日)…別のクルーで担当することになる

B 1 カテゴリー 1：(水)ゲーム 47 名 (62%) / 週末ゲーム 59 名 (72%) が都合○

審判員を続けたいので職を変えることを考えていつ方もいる

⑩ 登録者フィードバックアンケートの分析

全国登録者数 54629 人 S：156 人(0.3%) A：326 人(0.6%) B：4729 人(8.6%)

S と A を合計しても 1%以下、B 級は貴重な存在

将来的に取得したいライセンス→B 級：25%、FIBA：19%

10 代の 80%は自分から興味を持って審判を始めている。

アンダーカテゴリーへアプローチしていくことで若年層の拡大を目指す

⑪ 2025IR 制度見直し

2017 年からスタートした制度。現在、ワーキンググループで見直しをしている

T 級 IR S5 年・1 級 IR 3 年

1 級 IR S3 年・2 級 IR 2 年

2 級 IR A1 年・3 級 IR 2 年

} 両方の条件を満たすこと（現在検討中）

S級ライセンスがなくても、トップリーグのコートに立たなくても継続していればT級IRになることができちゃうのはどうなのか？審議中

しかし、3級IRについては、各ブロックから「2級IRが足りない」という意見を聞いており、B級更新講習に携わることができるように検討している。但し、B級審査はできない。B級更新講習を2級IRの役割から外すことで、A級審判員として自身の活動に専念できる。

(関口さん) 各ブロック、各県で工夫して運用している現状がある

(2) 事前アンケートによる質疑 (女性・若年審判員の育成、2・3級IRの稼働)

① 女性審判員の育成

	時期・対象
北信越 ブロック	笹本杯(春季学生リーグ)で女性講習会を実施、年1回、B級対象 次期A級の育成につなげる
長野県	6~7月 C級以下・無資格(中学の部活顧問・モデルチームの高校生等) 12月 B級・C級対象 ブロックにも声がけをし参加してもらっている
新潟県	8/10 講師:早川奈津美さん、年1回 8/8-11U 18U 23の大会(長岡)でビギナー対象の研修、3級IRの研修も併せて実施 U18 マネージャーを審判員として育ていく ・新潟中央 1名B級 ・北越1名やりたい ・新潟医療大学やりたい人増えている
石川県	12月親子ふれあい大会で女性講習を実施 子どもがバスケを始めたお母さんや産休・育休で休んでいて復帰される方が参加 女性上級は多いが、C級D級の女性の人数が伸び悩んでいる
富山県	年1回、U18 高校生が主な対象、吹き方、審判の楽しさを伝える機会 大学進学と同時に県外へ出てしまう等なかなか普及に結びついていない。
山内	トップレフェリーが近くにいることのメリット。尾形さんが近くにいることで、長野県の女性審判員のモチベーションは上がっている。
竹田さん	6月4日北信越ブロック女性ウェビナー開催した。近畿ブロック女性講習会に参加した審判員からの情報共有。上級がいる県とない県では盛り上がりが違う
山内	県というよりブロックで関わっていく方向でいきましょう
関口さん	長野県の女性講習会の報告書を見ると最後のページに集合写真が掲載されている。たくさん集まっている。増えていくとそれぞれが普及して動いていくので更に増えていく。

前田さんより

- 関東・近畿ブロックでは、託児所を設置して女性講習を開催している。良い取り組みであるが、子供を預かるという責任が伴うのでJBAとしては推奨できない。
- 李相佰盃日韓学生に携わった女性審判員が、子供を連れてきて、控室でおもちゃで遊んでいる様子があった。年配の方からは「あれはどうなのか？」と話があったが、今の時代よいのではないか。
- 女性講習の必要性がないのではないか？という声が女性からも上がっている。しかし、女性のみの講習会では、女性だけになると、元気になって発言も活発になる傾向がある。今後の試みが

切になる。

- みんながS級A級にならなくてよい。楽しく活動できることが大切
- 楽しめて仲間が増えて有意義な時間が送ることができればいい。その一方で上級を育成していく。機会はいくらでもある。

② 2・3級IRの稼働状況

富山県	2級IRが5名、大会運営とB級更新講習を同時進行している。2級IRが全員集まらなかったり、大会が重なったりして苦しい状況である。3級IRがB級の更新講習に携われるようになると助かる。更新の費用とのバランスも良くなり、やり甲斐につながる。
長野県	2級IR、B級更新講習、B級の研修 3級IR、各地区の審判長がB級審査のノミネートを行うので、B級審査を受講するC級の育成の役割を担ってもらっている。先日はIRの評価の研修を行った。
新潟県	2級IR業務過多。稼働している方が決まってきた 3級IR、持っただけで意味がないとやめる方がいた。3級IRがB級更新講習を実施できるのは助かる。B級審判員のゲームを見てミーティングはできるが、審査はできない。IRの質の担保が課題。2級IRはJBAからの配信があり情報をアップデートできるが、3級IRは学ぶ機会がない。2級IRが伝える必要がある。3級IRのレクチャーの様子を2級IRが見てレクチャーする講習を実施した。 大会において、IRとREFの割り当ての組み方もルール化した。1ゲームは明ける。怪我にもつながる。IR費用も支払っている。
福井県	2級IR4人、B級更新講習50名を愛称にすることは苦しい。3級IRがB級更新に携われるようになれば大変ありがたい。B級に示している「今年重点指導ポイント」を映像付きで明示できるようになれば良いか。
関口さん	JBAからPOEを配信しているが、3級IRにわかるように説明することは苦しいものがある。2PO用のPOEを作れば良いが、古いものになってしまう。

③ コンプライアンス案件

- U12で多く事案が上がっている
- 2012桜宮高校事件のHCが復活させて欲しいと申し出があったがJBAで却下
- インテグリティ 日本スポーツ界でいち早く取り組んだが、現在もバスケが一番多い
U12 暴言 34%、パワハラ 26%、暴力 13%、セクハラ 3%、その他
- 通報窓口 誰でも通報できるようになったから増えたのでは？という声もある
通報対象者は、公認コーチ、公認審判員、公認IR
- 業務委託 弁護士3名 案件が上がれば3名の弁護士で判断
聞き取りは両者平等、匿名では扱えない
- (HC、観客、上級審判員、IRからの) 審判員に対するハラスメント
審判ライセンスを持っているHCにその傾向がある
上級ライセンス、IRからのハラスメントもある

相手の立場を尊重、上から目線ではなく「どうしたら良いか？」一緒に考える
録音データを聞いたこともある。

○ HCの選手に対する暴力

ボディを攻める傾向がある。体幹を鍛えるためという言い訳。

○ ゲーム後のブリーフィング、昇格を絞り込むための大会、飲酒を伴う懇親会で起きている。

従弟制度 上級審判員、IRは絶対という意識

○ お金の扱い（使途不明金）にも充分注意する 目的・使途を明確にする

④ その他

○ 近畿ブロック どの県も高校生講習会を実施している。大阪はスポンサーがついて旅費を出している。

栗原さん	交通の便が悪い。高校マネージャーが審判をやりたいという声もある。 浮池さんがS級昇格でメディアに取り上げられた。ブローインズのB2昇格との相乗効果で反響は大きい。どうやったら審判員になれるか問い合わせもあった。
玉木さん	福井県の講習会に参加してきた。4月にS級昇格した山田さんと一緒にいき、大会に参加して割り当てをもらって、その県の審判員と一緒に吹いた。ブロック内で上級審判員を派遣して交流する取り組みは良い。
関口さん	長崎県では、平出さんを招致して講習会を行った。費用は長崎県で工面した。決勝を地元A級審判員と吹いた。Bリーグのファイナルを吹いた審判員と一緒に吹いたことは刺激になった。BリーグでやっているPGCをしてゲームに臨んだ。

山崎さん	新潟ではU12コンプラ案件があった。U12のクラブ化も影響している。元プロHCがコーチをしているチームの試合で、E級審判員が担当していたが、罵声を浴びせた。観客もそのコーチに同調。その審判員から県に問い合わせがあった。ライセンスが下になればなるほどその傾向はある。U12は保護者に「暴言は言いません」という誓約書を書かせている。「クリーン・ザ・ゲーム」のバナーを大会での掲示は大切。
了舟さん	4月コンプラ研修を実施。上級を目指すとき、何をすれば良いか自分で考えて動くことが大切であるが、考える前に片方を投げられてしまう。言われたことを消化できない状況もある。伝える側は、受け取る側の状態を考えて伝えようと石川県審判員みんなで考えていこうという話になった
前田さん	そういうことがあるかもしれないという事を知って、どう伝えていくのかが大切

山崎さん	新潟県U18リーグ戦で、運営側から、審判員はノーワッペンでも誰でもいいからリーグを回してくれと言われている。審判員登録料から回せないか。
関口さん	登録料はそれなりの額を支払っているが、コロナでチームの相当数がなくなった現状がある。チーム登録料、選手登録料がJBAに全く入って来なくなった。財源が苦しい。

栗原さん	B級更新講習のeラーニングの内容を知りたい。それを知った上で指導にあたりたい。
------	---